

カテゴリー	報道日	地区	ニュースソース	助産 News 掲載日
子育て	2009.11. 14	全国	読売新聞	
タイトル	パパが育児熱心 赤ちゃん事故少ない			

パパが育児熱心、赤ちゃん事故少ない

父親が子育てに熱心な家庭ほど、赤ちゃんが重大な事故に遭う確率が低くなることから、国立保健医療科学院の藤原武男・行動科学室長による約 4 万 2000 人の分析でわかった。

こうした大規模な調査は珍しく、英国の疫学専門誌で 13 日、発表した。

藤原さんは、厚生労働省が 2001 年に、当時生後 6 か月の乳児約 5 万人を対象に実施した「21 世紀出生児縦断調査」をもとに、授乳やおむつ替えなど 6 項目について、父親が子育てにかかわった度合いを各家庭が自己評価した結果を分析した。各家庭を、子育てに「積極的」「普通」「消極的」の 3 グループに分け、その後、1 年間にわたって追跡調査ができた約 4 万 2000 人について、事故の発生率との関連を調べた。

その結果、父親が子育てに積極的な家庭では消極的な家庭よりも「誤飲」の発生率が 21%、「水におぼれる事故」は 20%、事故全体では 9% 少なかった。中でも父親が赤ちゃんと一緒に散歩している家庭では、発生率が顕著に低く、「誤飲」が 34%、事故全体で 24% も少なかった。